



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月31日
上場取引所 東

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社
 コード番号 4547 URL <https://www.kissei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 神澤 陸雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務管理部長 (氏名) 北原 孝秀 (TEL) 0263-25-9081
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	17,851	△5.3	2,984	64.6	3,602	46.4	2,741	30.4
30年3月期第1四半期	18,846	△1.6	1,813	△45.4	2,460	△30.5	2,101	△25.9

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 4,371百万円(△12.4%) 30年3月期第1四半期 4,991百万円(131.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	58.67	—
30年3月期第1四半期	43.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	211,459	179,343	84.6	3,830.61
30年3月期	210,821	176,092	83.3	3,761.03

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 178,952百万円 30年3月期 175,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,700	△2.4	3,500	△15.0	4,000	△22.7	3,000	△29.9	64.22
通期	71,700	△3.1	7,900	△20.1	8,900	△22.0	6,600	△27.0	141.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	51,811,185株	30年3月期	51,811,185株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	5,094,713株	30年3月期	5,094,713株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	46,716,472株	30年3月期1Q	48,316,952株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、決算短信とあわせて当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
(1) 販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、本年4月に実施されました薬価改定におきまして、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の加算要件の見直しや後発品への置き換え率に基づく長期収載医薬品の薬価引下げが実施されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、企業におけるIT投資及び設備投資意欲に改善傾向が見られるものの、低調な個人消費を主要因に景気の先行き不透明感が広がるなど、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	増減率 (%)
売上高(百万円)	18,846	17,851	△5.3
営業利益(百万円)	1,813	2,984	64.6
経常利益(百万円)	2,460	3,602	46.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	2,101	2,741	30.4

・売上高(医薬品事業)の状況

医薬品事業の売上高は、155億2千6百万円(前年同期比6.8%減)となりました。主力製品における積極的な医薬情報活動を推進いたしましたことなどにより、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ錠」及び「ユリーフOD錠」、高リン血症治療薬「ピートルチュアブル錠」、昨年12月に新発売いたしました潰瘍性大腸炎治療薬「レクタブル2mg注腸フォーム14回」などの売上が増加いたしました一方、本年4月に実施されました薬価改定の影響や技術料売上が減少いたしましたことなどにより減収となりました。また、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン(一般名、日本製品名ユリーフ)の欧州・中東・アフリカなどにおける技術導出先でありますレコルダッチ社(イタリア)では、当連結累計期間におきましても引き続き許諾地域内において製品育成を進めております。

・売上高(その他の事業)の状況

その他の事業の売上高は、23億2千4百万円(前年同期比6.3%増)となりました。情報サービス業、物品販売業で減収となりましたものの、建設請負業におきまして増収となりました。

・利益の状況

利益面では、減収及び売上原価率の上昇がありました一方、研究開発費を主に販売費及び一般管理費が減少いたしましたことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。

・研究開発の状況

JCRファーマ株式会社と共同開発を行っております持続型赤血球造血刺激因子製剤ダルベポエチンアルファ(一般名)のバイオ後続品JR-131(開発番号)は第Ⅲ相臨床試験が終了し、承認申請に向けた準備を進めておりますほか、引き続き各開発テーマの研究開発を推進し、開発段階のステージアップを図っております。なお、脊髄小脳変性症治療薬KPS-0373(開発番号、一般名:ロバチレリン)につきましては、第Ⅲ相臨床試験において、主要評価項目としておりました運動失調を評価するSARA合計スコアの変化量について、プラセボと比べて統計学的に有意な改善が認められませんでした。現在、今回の試験により得られた結果について重症度による部分集団解析などの詳細な検討を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

・資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は2,114億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億3千8百万円増加いたしました。流動資産は現金及び預金が増加いたしました。受取手形及び売掛金、たな卸資産などが減少いたしましたことなどにより、14億1千万円減少し967億5千2百万円となりました。固定資産は投資有価証券の増加などにより、20億4千8百万円増加し1,147億6百万円となりました。

・負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の負債は321億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億1千1百万円減少いたしました。流動負債は、支払手形及び買掛金、未払法人税等などが減少いたしましたことなどにより、32億2千5百万円減少し142億2千2百万円となりました。固定負債は繰延税金負債の増加などにより6億1千3百万円増加し、178億9千4百万円となりました。

・純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産は1,793億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億5千万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加いたしましたことによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.3%から84.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月8日発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,371	25,956
受取手形及び売掛金	28,873	26,705
有価証券	23,288	23,281
商品及び製品	4,933	4,951
仕掛品	1,110	1,336
原材料及び貯蔵品	9,889	8,942
その他	5,698	5,580
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	98,163	96,752
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,489	38,529
減価償却累計額	△28,030	△28,215
建物及び構築物(純額)	10,458	10,314
土地	12,913	12,865
建設仮勘定	19	33
その他	15,703	15,723
減価償却累計額	△12,698	△12,856
その他(純額)	3,005	2,866
有形固定資産合計	26,396	26,079
無形固定資産	1,716	1,675
投資その他の資産		
投資有価証券	81,194	83,637
繰延税金資産	670	682
その他	2,733	2,687
貸倒引当金	△54	△54
投資その他の資産合計	84,545	86,952
固定資産合計	112,658	114,706
資産合計	210,821	211,459

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,894	3,857
短期借入金	1,757	1,751
未払法人税等	2,375	1,032
賞与引当金	2,225	997
その他の引当金	645	541
その他	5,550	6,041
流動負債合計	17,448	14,222
固定負債		
長期借入金	1,876	1,881
繰延税金負債	9,935	10,697
役員退職慰労引当金	151	146
退職給付に係る負債	4,623	4,491
資産除去債務	114	115
その他	577	562
固定負債合計	17,280	17,894
負債合計	34,728	32,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,226	24,226
利益剰余金	102,834	104,454
自己株式	△11,607	△11,607
株主資本合計	139,809	141,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,752	38,339
退職給付に係る調整累計額	△859	△816
その他の包括利益累計額合計	35,892	37,522
非支配株主持分	390	390
純資産合計	176,092	179,343
負債純資産合計	210,821	211,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	18,846	17,851
売上原価	6,250	6,398
売上総利益	12,596	11,453
返品調整引当金戻入額	11	22
返品調整引当金繰入額	10	16
差引売上総利益	12,597	11,458
販売費及び一般管理費	10,783	8,473
営業利益	1,813	2,984
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	445	523
有価証券評価益	221	82
その他	15	18
営業外収益合計	687	628
営業外費用		
支払利息	6	5
為替差損	34	—
その他	0	5
営業外費用合計	41	10
経常利益	2,460	3,602
特別利益		
投資有価証券売却益	309	0
特別利益合計	309	0
特別損失		
固定資産処分損	2	0
減損損失	—	49
特別損失合計	2	49
税金等調整前四半期純利益	2,767	3,553
法人税、住民税及び事業税	1,590	746
法人税等調整額	△929	67
法人税等合計	661	813
四半期純利益	2,105	2,740
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,101	2,741

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	2,105	2,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,815	1,587
退職給付に係る調整額	70	44
その他の包括利益合計	2,885	1,631
四半期包括利益	4,991	4,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,985	4,371
非支配株主に係る四半期包括利益	5	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	医薬品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	16,659	16,659	2,187	18,846
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1,049	1,049
計	16,659	16,659	3,237	19,896
セグメント利益	1,726	1,726	76	1,803

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,726
「その他」の区分の利益	76
セグメント間取引消去	0
固定資産の調整額	△24
その他の調整額	34
四半期連結損益計算書の営業利益	1,813

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	医薬品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	15,526	15,526	2,324	17,851
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	873	873
計	15,526	15,526	3,198	18,725
セグメント利益	2,934	2,934	22	2,956

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,934
「その他」の区分の利益	22
セグメント間取引消去	0
固定資産の調整額	36
その他の調整額	△8
四半期連結損益計算書の営業利益	2,984

3. その他

(1) 販売実績

当連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業						
泌尿器科用薬剤	4,388	23.3	4,538	25.4	149	3.4
腎・透析科用薬剤	2,782	14.8	2,853	16.0	70	2.5
代謝内分泌科用薬剤	2,685	14.2	2,114	11.8	△570	△21.2
産婦人科用薬剤	710	3.8	503	2.8	△206	△29.1
眼科用薬剤	297	1.6	257	1.4	△39	△13.2
その他の薬剤	2,789	14.8	2,672	15.0	△116	△4.2
ヘルスケア食品	903	4.8	914	5.1	10	1.2
その他	2,101	11.2	1,671	9.4	△430	△20.5
報告セグメント計	16,659	88.4	15,526	87.0	△1,132	△6.8
その他の事業	2,187	11.6	2,324	13.0	137	6.3
合計	18,846	100.0	17,851	100.0	△994	△5.3
(うち輸出高)	(2,538)	(13.5)	(1,850)	(10.4)	(△687)	(△27.1)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。